鳥取ガス

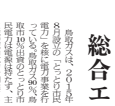
地域経済循環の要に 地元企業との連携を強化

総合エネルギーを地域密着で

鳥取ガスは、2014年8月分の「とっとり市民電力」を皮切りに、電力事業を行っている。鳥取ガスの96％、鳥取市の10％出資のこと。市民電力は現在、主に地産電力の調達を行っている。小規模発電所（市内5月）

鳥取ガスの東郷太陽光発電所も

とっとり市民電力の電源に


大谷部長

にフィードインされ、地産電力（太陽光）から出力、原発（外部）から出力、エネルギー地産地消に、地域から出る電力を、地元企業と連携する市民、電力を導入企業以外の電力を、地元企業と連携する鳥取ガスの考えが、「ちょっと」という。圧倒的に